

平成29年度東京都消費生活調査員調査 食品表示調査結果報告書

【第2回調査「水産物の原産地等の表示」に関する調査結果】

1 調査目的

食品表示法に基づく食品表示について、都内の店舗において適正に行われているかの実態を調査することにより、事業者の指導等に活用し、食品表示の適正化を図る。

2 調査内容

(1) 調査品目

食品表示法に定める、食品表示基準第2条第2項による同基準別表第2に規定する水産物のうち、アナゴ、イワシ、サケ、サバ、ヒラメ、マグロ、アサリ、ハマグリ、イカ及びエビの計10品目

(2) 調査項目

- ア 取扱商品の有無
- イ 名称及び原産地の表示
- ウ 解凍した旨及び養殖された旨の表示

(3) 調査期間

平成29年7月14日（金曜日）から平成29年7月28日（金曜日）まで

(4) 調査の規模

- ア 調査開始時の調査員数：198名
- イ 調査実施人数：177名
- ウ 調査実施店舗数：353店舗
- エ 調査対象品目数：3,530品目

3 調査結果

(1) 表示率

ア 店舗ごとの表示率

今回の調査における、「名称」「原材料名」を合わせた表示率は以下のとおり。

- (ア) 表示率100%：309店舗
- (イ) 表示率90%以上100%未満：39店舗
- (ウ) 表示率80%以上90%未満：4店舗
- (エ) 表示率80%未満：1店舗

イ 品目ごとの表示率

今回の調査における、各項目の表示率はそれぞれ以下のとおりであった。

対象品目	取扱率	名称 表示率	原産地 表示率
アナゴ	10%	100%	100%
イワシ	68%	100%	100%
サケ	98%	100%	100%
サバ	71%	100%	100%
ヒラメ	22%	100%	100%
マグロ	99%	100%	98%
アサリ	82%	100%	99%
ハマグリ	26%	100%	99%
イカ	88%	100%	99%
エビ	90%	100%	98%

小数点以下四捨五入（99.5%以上についても100%とした）

(3) 調査結果に基づく対応について

名称及び原産地を合わせた表示率が90%未満の5店舗のうち、調査員からの報告内容から欠落の可能性があるとと思われる3店舗について、所管の行政機関に情報回付を行った。